

平成 29 年度 中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修 報告書

技術センター 共通機器部門 情報基盤機器管理班

原 憲行

1. はじめに

技術職員として職務を遂行するにあたって必要な一般的知識および専門的技能を学び、技術の向上を図るため、今回の研修に参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 29 年 8 月 30 日（水）～平成 29 年 9 月 1 日（金）

会場：山口大学常盤キャンパス

3. 参加者等

中国四国地区国立大学法人等技術職員 39 名

4. 研修内容

全体講義として、1 日目に「国立大学法人山口大学の現状、そしてこれから」「山口大学技術職員組織の全学化に向けた取り組み」「宇宙利用のすすめ!」、3 日目に「国際宇宙ステーション・「きぼう」日本実験棟初の燃焼実験「Group Combustion」」「マイクロコンピュータを用いた空気圧アクチュエータの制御」「技術系職員として知っておきたい知的財産の基礎知識」

2 日目には実習として「Web システムの作成入門」

5. まとめと感想

全体講義では、国立大学法人の置かれた現状と、技術職員がその中でどういう役割を果たしていくべきかという講演を伺った。大学という組織が大きく変化していく中で、技術職員にも高度かつ効率的な支援が要求されてくるのに対して、技術職員組織としてどう応じていくかが大切であると感じられた。また、知財についての講演にあった、大学というネームバリューそのものを活用した事例は、大変興味深いものだった。

実習では、データベースシステムを利用した簡単な掲示板システムを PHP で作成した。Web アプリケーションに対する様々な攻撃方法と、その対策が具体的に示されており、セキュリティに関する理解をより深めることができた。